

米国 融資基準の厳格化により減速基調が続く（08年9月消費者信用残高）

発表日：2008年11月11日（火）

～消費者マインドの大幅悪化も加わり年内は減速基調が続く公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

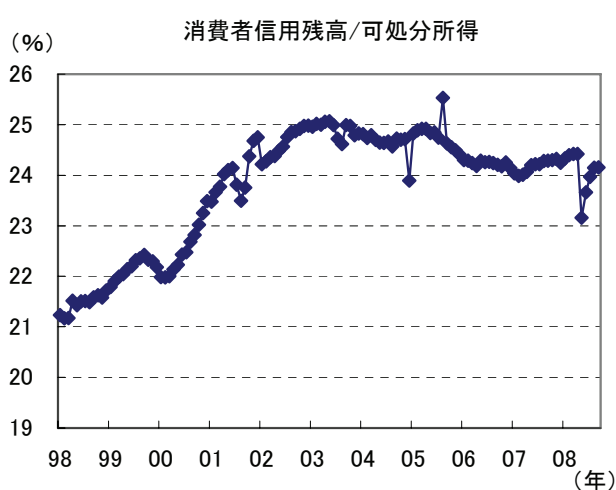
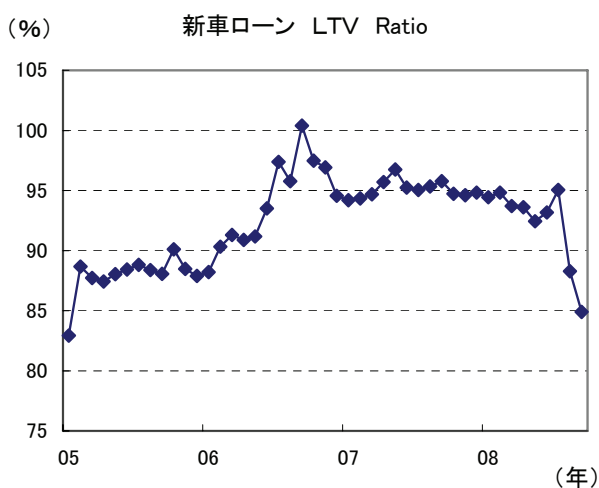
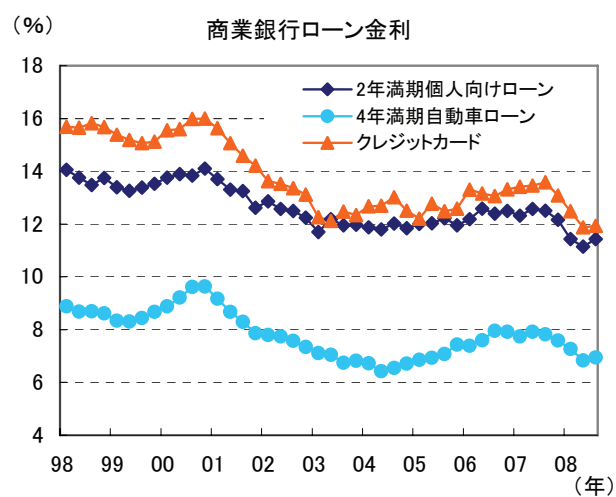
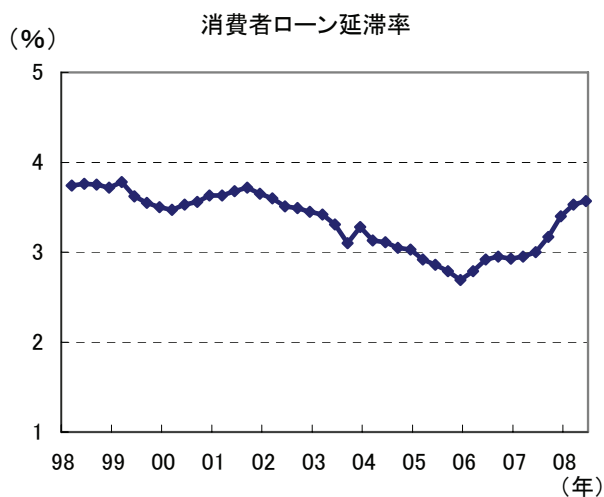
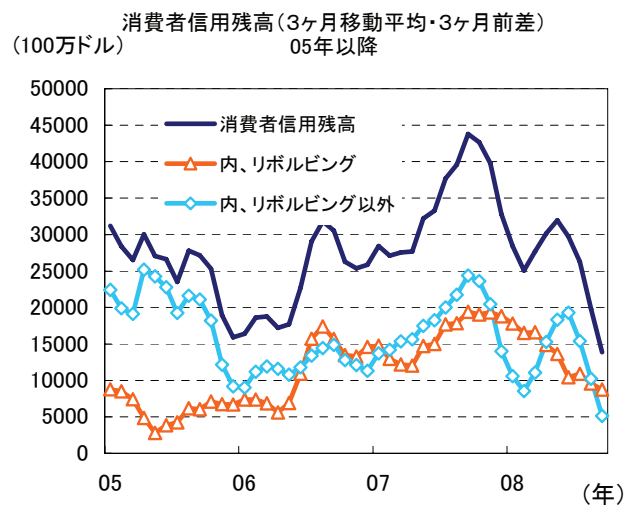
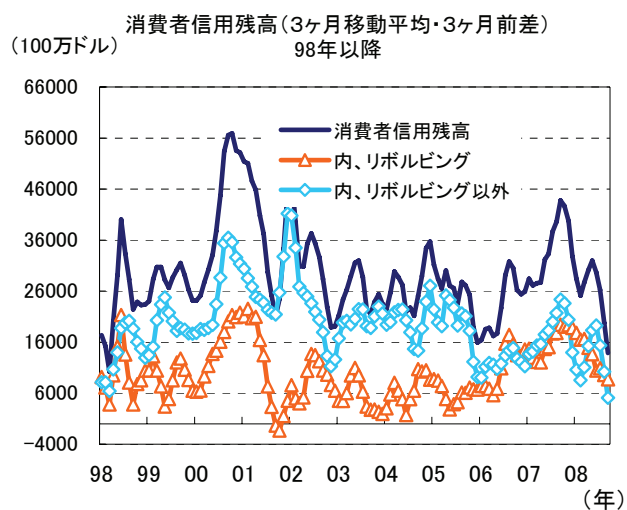
03-5221-4526

- 08年9月の消費者信用残高（季節調整済）は2兆5881億ドル、前月差+69億ドル（前月比年率+3.2%）と、前月同▲63億ドル（同▲2.9%）から上昇に転じた。しかし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前差で基調をみると、金融システム不安による融資基準の厳格化、雇用環境の悪化や消費者マインドの悪化による借入れ需要の減速により、4ヵ月連続で減速となった。
- 内訳はリボルビング（クレジットカード等）が前月差+10億ドル（前月比年率+1.2%）と前月同+3億ドル（同+0.4%）から小幅加速したが、3ヵ月移動平均・3ヵ月前差でみると、07年11月以降減速基調が続いている。リボルビング以外（自動車ローン、モービルホームローン、教育ローン等）は同+59億ドル（同+4.4%）と前月同▲66億ドル（同▲4.9%）から上昇に転じたが、3ヵ月移動平均、3ヵ月前差では3ヶ月連続で大幅に伸びが鈍化した。雇用環境の悪化、消費者マインドの悪化により、自動車ローンを中心とするリボルビング以外を中心に借入れ需要が下押しされたことに加え、融資基準が一層厳格化されていることが窺われる。消費者信用残高と同時に発表されている新車ローンLTV（新車の購入額に対するローンの割合）も7月の95%の後、8月88%、9月85%と急激に低下しており、融資基準が厳格化が進んでいることが窺える。
- 足元では9月からの金融不安の強まりをうけ、融資基準は一層厳格化されているとみられる。また、雇用環境の大幅な悪化をうけ消費者マインドが一層悪化していると予想されることから、年末にかけて3ヵ月移動平均でみた基調は減速が続くと見込まれる。その後は、金融機関の収益悪化がピークを過ぎれば、融資基準の厳格化の動きに歯止めがかかるとみられるものの、深刻な景気悪化をうけ、信用残高の減速基調に歯止めがかかる程度に留まろう。

	消費者信用残高(10億ドル)			リボルビング(10億ドル)		リボルビング以外(10億ドル)	
		前月差	前月比年率(%)		前月差		前月差
07/10	2504.3	7.9	3.8	929.2	7.4	1575.1	0.5
07/11	2517.4	13.1	6.3	936.0	6.8	1581.4	6.2
07/12	2521.4	4.0	1.9	939.5	3.4	1581.9	0.5
08/01	2530.5	9.1	4.3	945.8	6.3	1584.7	2.8
08/02	2541.5	11.0	5.2	951.3	5.6	1590.2	5.5
08/03	2554.1	12.5	5.9	957.3	6.0	1596.7	6.5
08/04	2564.2	10.1	4.7	957.3	▲ 0.1	1606.9	10.2
08/05	2571.1	6.9	3.2	962.9	5.6	1608.2	1.3
08/06	2580.0	8.9	4.1	965.6	2.7	1614.4	6.2
08/07	2587.5	7.5	3.5	970.1	4.5	1617.4	3.0
08/08	2581.2	-6.3	-2.9	970.5	0.3	1610.8	▲ 6.6
08/09	2588.1	6.9	3.2	971.4	1.0	1616.7	5.9

（出所）FRB(連邦準備制度理事会)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所)FRB(連邦準備制度理事会)